

明峰ニュース

編集発行・印刷 明峰コミュニティ推進協議会 発行部数 6,500部

写真デザイン

平成27年度明峰コミュニティ総会が開かれました！！

名称も「明峰小学校区コミュニティ推進協議会」から
「明峰コミュニティ推進協議会」へ

新生「明峰コミュニティ」住みよい街を目指して

会長 横谷 弘務

「夏めく」日々になりました。明峰地域の皆様には、益々お元気のことと存じます。いつもいろいろとお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年度の明峰小学校区コミュニティ推進協議会総会が4月26日(日)に菅原副市長・大串衆議院議員他多くのご来賓に出席賜り、関係各位のご協力ですべての議案を、ご承認頂き、盛大・無事故で終了いたしました。ご支援、ご出席頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

本年度の総会は、川西市より地域分権制度提案に伴う節目の総会でありました。明峰コミュニティは、新制度に参加して、名称もコンパクトに「明峰コミュニティ推進協議会」に改めました。正に新生「明峰コミュニティ推進協議会」のスタートです。平成27年度より新制度を取り入れるコミュニティは、9団体と伺っています。他のコミュニティも初めての試みなのでモデルはありません。私たちの歩みが、振り返れば道となり、良き模範となるよう努力してまいります。

明峰コミュニティのモットーである、「仲の良い街・明峰校区。明るい街・明峰校区。安心安全の街・明峰校区」は、今後も基本理念として活動を推進して参ります。平成27年度は、継続事業として「明峰体育フェスティバル」を中心に進めてまいります。三世代交流の場として、従来の「体育祭」に拘らず、多くの方が参加してみたい楽しいイベントの開催に、尽力してまいります。健康増進・子育て世代の交流・高齢者の居場所づくり等に貢献する要素を取り入れていきます。

地域計画の新規三ヶ年事業は、役員会・運営委員会で合意形成のできるものから、プロジェクトチーム等を立ち上げ進めてまいります。

とりわけ、住民移動手段の利便性向上は、課題ですので役員会・運営委員会に提案して、取り組みの開始を進めたいと決意を固めています。具体的な案については住民の方々へのアンケート調査を実施し、関係各所と協議を重ね、交通利便性の向上を実現したいと思っています。

その他の課題も運営委員の皆様と談論風発しながら検討してまいります。様々な事業の推進のため、活動拠点の確保と組織の強化、人材の育成に取り組みます。そのために、新しい(仮称)コミュニティセンターが必要です。各部会・各諸団体・特別委員会等の会議室、コミュニティの事務局等の部屋など機能的なセンターがほしいところです。

昨年度より、様々な角度から川西市に要望を申し入れ検討してまいりました。空き家活用等のため、明峰地域を視察検討致しましたが、駐車場が確保出来ないため対象外といたしました。我々の希望するところは川西市に正しくお伝えしており、同じ理解のもと市と明峰コミュニティとで協議を進めています。皆様にお伝え発表できる日が早からん事を願っています。

新生「明峰コミュニティ」のスタートにあたり、微力ではありますが、生まれ変わった心意気で、奮闘してまいります。皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。以上で会長の決意といたします。



会場からの質問に答えられる横谷会長

新会則制定の背景と地域計画事業案について説明される森川副会長



新生明峰コミュニティの新会則と地域計画を含む事業計画を積極的に承認！！



来賓の皆様方



平成 27 年度明峰コミュニティ推進協議会総会

総会では平成 26 年度コミュニティとして行った事業報告がなされ、賛成多数で承認されました。続いて、承認されたこれら事業の為に要した費用の決算報告と会計監査結果が報告され、本案も賛成多数で承認されました。次に、平成 27 年度には明峰コミュニティが市の推進する地域分権制度に適應する形で運営を行う為に新会則を制定し、その新会則下で実施する地域計画を含む事業案が新たな予算と共に提案され、皆様のご理解を得て賛成多数で承認されました。

今年度総会で最も大きな変革は地域分権制度での新会則の制定と地域事業計画です。新会則は別途、全住民の方々のお手元にお届けしますので、是非お読み下さい。地域計画に関しては高齢化が進む状況下、明峰コミュニティが取り組むべき事業計画を 3 年計画として取り上げています。この為に必要な財源を市から一括交付金という形で交付頂く事になっています。

紙面の都合上、下記には平成 26 年度決算と平成 27 年度予算を簡略化した形で示していますが、コミュニティの活動を概略理解して頂けるものと思います。総会議案書には詳細が示されていますので、必要な方は地域の自治会にお問い合わせください。

コミュニティでは新たな制度下で住民の皆さんが安心して繋がりを感じる地域形成の為に誠心努力していきますが、実のあるものにする為には住民の皆さんのご理解と協力が必要です。よろしくお願ひします。

(収入)

平成 26 年度決算

(支出)

項目	予算額	決算額	増減
前期繰越金	1,365,451	1,365,451	
会費	600,000	588,900	－ 11,100
市補助金	970,000	970,000	0
防災補助金	50,000	50,000	0
寄付金	200,000	200,000	0
広告収入	200,000	233,000	33,000
雑収入	50,000	429,707	379,707
合計	3,435,451	3,837,058	401,607

項目	予算額	決算額	増減	
運営費	832,000	647,415	－ 84,585	
事業費	コミュニティ各部会活動費合計	720,000	673,131	－ 46,869
	諸団体助成金	120,000	41,154	－ 78,846
	全体事業費	800,000	610,118	－ 189,882
	予備費	963,451	398,000	－ 565,451
支出合計	3,435,451	2,369,818	－ 1,065,633	
次期繰越金		1,467,240		
合計	3,435,451	3,837,058	401,607	

運営費：事務消耗品・会議費・備品消費費・(対外)会費等・交通/通信費

コミュニティ各部会活動費合計：体育部会・文化部会・環境部会・安全部会・広報部会

全体事業費：明峰健康フェスティバル・ゴルフ大会

(収入)

平成 27 年度予算

(支出)

項目	予算額	前年度実績
前期繰越金	1,467,240	1,365,451
一 市補助金	970,000	970,000
括 統合財源	1,011,000	
交 一括交付金	2,293,000	
付金合計	4,274,000	
防災補助金	0	50,000
自治会協力金	460,000	588,900
寄付金	200,000	200,000
広告収入	250,000	233,000
雑収入	50,000	429,707
合計	6,701,240	3,37,058

項目	予算額	前年度実績	
運営費	1,030,000	647,415	
事業費	地域計画推進費	623,000	0
	コミュニティ各部会活動費合計	770,000	673,131
	ジョイフル	200,000	0
	福祉委員会	761,000	0
	防災会	50,000	0
	活動補助費(諸団体助成金)	0	41,154
	全体事業費	800,000	610,118
	事務所積立金繰入	1,000,000	0
予備費	1,467,240	398,000	
支出合計	6,701,240	2,369,818	
次期繰越金	0	1,467,240	
合計	6,701,240	3,837,058	

一括交付金が昨年度の¥ 970,000 に比較して ¥ 4,274,000 と大きく増加していますが、これは従来、ジョイフル・福祉委会・防災会への市から直接補助されていたものをコミュニティへの一括交付金に含められた為です。また、地域分権制度下で新たに計画された地域計画推進の為に補助金が一括交付金に含められている為、増加しています。



明峰地域の皆様と密着・一体となったコミュニティ活動へ

副会長 森川 繁宏



明峰コミュニティは、27年度の総会において、川西市より提案のありました地域分権制度の導入を決定致しました。川西市では第5次（平成25年度から平成34年度）総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」がスタートしていますが、地域の特性や多様性を尊重した取り組みを行うためには、地域の協力が欠かせないと考え、市内にある13のコミュニティに地域分権制度と称し協力の呼びかけがあったものです。

地域分権制度導入後も、コミュニティの諸活動を、地域の自治会や、各種団体が中心となって推進していくことには変わりはありませんが、明峰コミュニティでは、地域の課題の解決に取り組む為には、明峰地域の全住民の方が自治会にご加入頂き、お力を貸して頂くことが不可欠であると考えております。

明峰コミュニティでは、全住民の方にご理解とご協力を頂けるよう、本年度より次のような取り組みを実施してまいります。

- 1 明峰ニュースや、明峰福祉委員会等、各種団体のニュースにつきましても、地域の全住民の方に配付し、理解の共有に努めます。
- 2 明峰コミュニティの新会則（地域分権制度の導入により会則を全面的に改訂）をコミュニティの運営・活動の基本的な考え方をご理解頂けるよう、全住民の方に配付致します。
- 3 新しい会則の中では総会を傍聴できる制度を設けています。コミュニティ活動を一部の役員等だけの力ではなく、全住民が現状の把握と将来への取り組みについて理解し、ご協力を頂くため傍聴制度を設けました。詳細は総会開催前に明峰ニュースに掲載致します。

明峰コミュニティは、地域分権制度の導入を契機に、住民の移動手手段の利便性の向上、安心・安全の街づくりや、三世代が楽しめる「明峰体育フェスティバル」（仮称）の開催等、尚一層、明峰地域の皆様と一体となって、街の発展に努めてまいりたいと考えています。



～「明峰地区福祉委員会総会 5月16日（土）～

総会委員数84名のところ、出席者54名、委任状23名（計77名の出席）でもって総会が開かれました。平成27年度事業の重点活動では新たにスタートする“明峰小地区安心サポート活動”におかれています。本プログラムは高齢者を訪問し、高齢者の方々からのご要望に関わる地域活動状況や各種支援サービスを受けて貰えるようお手伝いをするものです。本年6月から鶯が丘・萩原台東地区をモデル地区としてスタートするとの事です。

他には、

- 1) お一人暮らしの集い
- 2) 70歳以上のご夫婦の集い
- 3) 子育て支援活動として居場所づくり活動の充実、三世代交流事業の推進等の活動を推進していく、

事が承認されました。

以上の活動に向けて¥1,986,159の予算が承認されました。



明峰地区青少年育成市民会議 平成27年度総会～

本年度総会が4月20日（月）明峰公民館にて開かれました。

平成27年度は昨年にも増して明峰地区の子ども達のために活発に活動しようとの方針案を全会一致で承認しました。

また、皆さん気づかれ
ましたか？市広報
MiLife（ミライフ）
5月号には育成
市民会議（議長・
熊田早苗さん）の
活動が詳細に紹介
されていますので
是非ご一読下さい。





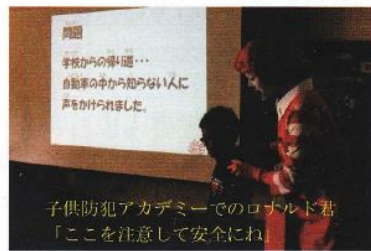
～川西防犯協会明峰支部 平成 27 年度総会～

明峰支部長 石津 顕

5月23日(土)午後、川西防犯協会明峰支部の定期総会が開かれました。明峰コミュニティの長年の懸案だった防犯協会明峰支部が昨年5月に発足して一年が経ちました。総会では、この一年間の活動実績と会計決算が報告され、新年度の予算、活動計画が承認されました。

明峰支部ではこの一年間、各自治会への防犯情報の連絡、青色防犯パトロールカーによる毎月の巡回、防犯街頭啓発、少年補導、夏季・冬季の地区内パトロールなど安全安心のまちづくりのための活動を進めてきました。

10月5日には明峰健康フェスティバル会場で、明峰支部独自の防犯街頭啓発として特殊詐欺防止のチラシなどを配布、また12月26日には全国的に珍しい子供防犯アカデミーを明峰小学校で開催して明峰支部の活動をアピールすることができました。比較的に安全と言われる明峰地区ですが、最近、空き巣事件が多発しており、地区をあげて、今後、より一層防犯に“力”を入れて取り組む必要があります。



子供防犯アカデミーでのロナルド君「ここを注意して安全にね」



ルピナスの会によるバザーが盛況でした。

2月22日(日)ルピナスの会では明峰公民館では恒例となっている「ルピナスの会バザー」を開催しました。下の写真にみられるように多数の方の来場を頂き盛況裡に終える事ができました。バザーの開催にご協力頂いた方々、また来場頂いた方々、ご苦労様でした。尚、本年度2回めのルピナスの会バザーが来る6月28日(日)に明峰公民館にて開催されます。是非、ご来場下さい。



[明峰コミュニティ よりのお礼]

明峰コミュニティはルピナスの会よりコミュニティ活動援助として20万円の寄付を頂きました(昨年度も同様に20万円のご寄付を頂いています)。コミュニティの為にご厚志を有効に使わせて頂きます。有難うございました。



特別寄稿

～ つながりあう「行きたい学校」「住みたい地域」心のふるさと明峰 ～

明峰小学校前校長 松岡寛一

明るい峰から、そよ風に乗って子どもたちの様子や地域の様子が届いてきます。ふるさとにいる清々しい気分になります。

私こと、この三月、定年にもない明峰小学校を卒業いたしました。在職中の五年間、コミュニティの皆様には、心温まるご協力・ご支援を賜り、本当にありがとうございました。挨拶・防犯・行事・福祉など、つながりが深く人を大切にする明峰です。地域に支えられた明峰で終わったことを幸せに思います。



さて、子どもたちの世界に「三間」<時間・空間・仲間>が乏しくなったように感じます。その三つが不足するうちに、四つ目の「間」<手間>も抜け落ち始めてくるような気がします。<手間>をかければ、個性が育ち、共感力が高まり、人間関係が育つのではないのでしょうか。

地域分権の中でコミュニティの存在が、ますます重要になってきています。明峰がますます安全で安心は「住みたい地域」になり、心のふるさととして発展することを心から願って、皆様への退職のご挨拶としたいと思います。有難うございました。



松岡先生の後任高垣校長先生が迎えておられます。



～ 広報部からのお知らせ ～

- 明峰ニュース本号・横谷会長の文にありますように明峰コミュニティが川西市地方分権制度に対応し新機構として発足しました。今後、明峰コミュニティでは本コミュニティ紙を自治会員に限らず域内全所帯に配布します。コミュニティ活動の意識が高まる事で一人では対応できない案件に対し地域として解決でき、それが地域の安全な住環境と資産価値を高める事に繋がります。コミュニティは自治会を中心にして運営されていますので、自治会に入っておられない方は是非入会を検討下さい。
- この紙面構成にあたって努力して頂きました湯山台在住の高橋リカさんがこの4月でもって退任されました。有難うございました。